

イモリ しんぶん

Vol. 29

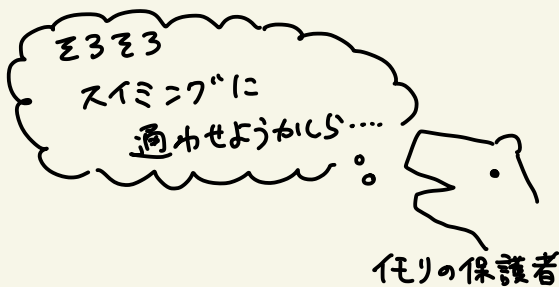
発行日：2022年 4月 26日

発行：朝日塾中等教育学校 理科

イモリの水泳トレーニング

アカハライモリは幼生から幼体が変わる頃に、水中生活から陸上生活に移行します。成体は基本的に水中で生活しているので、幼体はどこかのタイミングで水中生活を始めるのだらうと思われます。

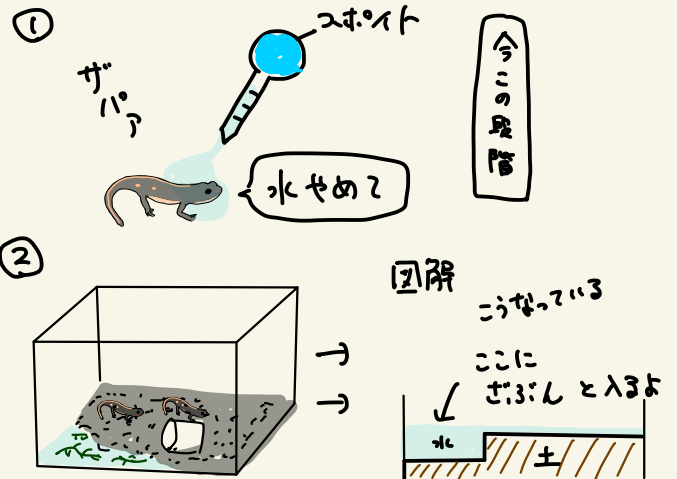
学校のアカハライモリたちが陸上に上がって10か月以上経過しました。今は陸上生活中なので、ため池のような環境を用意していませんが、そろそろ水に慣れてもらうタイミングなのかもしれません。



人間のスイミングスクールでも同様ですが、いきなり水に放り込むことはできません。幼体アカハライモリでも、わたしたち人間よりは息は長いですが、そのうち溺れます。

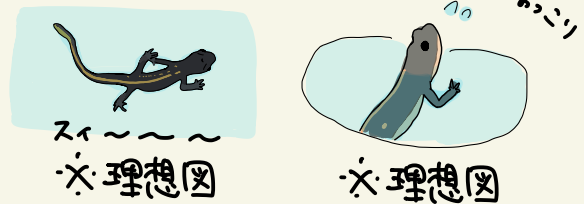
そこで、まずトレーニングとしては、

- ①水に慣れてもらう
 - ②全身水に浸かることができるようになる
 - ③足がつかない水場を用意する
- を計画しています。①については普段のお世話である程度できているので、次は②の段階に移行しようと考えています。

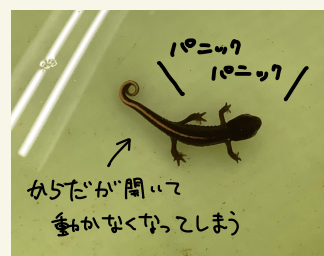


※飼育のテスト水槽でためています

- ③ どうやって場をつくるかは考え中



アカハライモリがいつ泳げるようになるのかがわからないので、このように段階を細かくしています。こんなことしなくても泳げるんじゃないかな？と思って風呂桶に入れたところ、やっぱり泳げなかったなので、少しずつ練習することは大切らしいです。



全身つかうような場所だと垂れ下がってしまうようです (ちゅいりるが腹かにおぼれるみたいなイメージ)

ためしてゴメン……

次回 イモリの文献記録

※次回はゴールデンウィーク明けの発行